

整理番号 00390

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等）

Molecular sieve

モレキュラーシーブ

販売者情報

会社

LECO ジャパン合同会社

住所

〒105-0014

東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号

住友不動産芝ビル 4 号館

担当

SDS 担当者

電話番号

(03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801

製造者情報

会社

LECO Corporation

住所

3000 Lakeview

St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.

緊急時電話番号

Chemtrec Int'l

703-527-3887

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性 : 皮膚腐食性・刺激性 区分 1

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分 1

発がん性 区分 1A

ラベル要素

絵表示 :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷を起こす。発がん性のおそれ。

注意書き

安全対策 : 使用前に取扱説明書をよく読むこと。注意書きを読み、理解するまで使用しないこと。ダストを吸入しない。取扱後はよく手を洗う。適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置 : 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。皮膚又は髪に付着した場合、

モレキュラーシーブ P/N: 501-197, 501-632, 761-744, 769-821

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。眼に入った場合、数分間注意深く水で洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。医療機関に連絡すること。汚染された衣類は再使用前に洗濯すること。

保管： 乾燥した場所に密閉して保管すること。

廃棄： 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理専門業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名	酸化ケイ素 (合成)	酸化アルミニウム (非繊維状)	酸化ナトリウム	酸化マグネシウム	石英
成分及び含有量(wt%)	<50	<30	<30	<5	<3
官報公示整理番号					
化審法	1-548	1-23	1-495	1-465	1-548
安衛法	165-2	189	対象外	対象外	165-2
PRTR法	対象外	対象外	対象外	対象外	対象外
CAS No.	7631-86-9	1344-28-1	1313-59-3	1309-48-4	14808-60-7
国連番号及び国連分類			1825		

本製品を初めに水にぬらすと水の沸点まで加熱することがある。冷やすには水に浸ける。結晶シリカを石英の形で繰り返すまたは長期的に吸入すると発がんのおそれがある。

4. 応急措置

吸入した場合	ダストを吸入した場合、すぐに新鮮な空気のある場所へ移動させる。症状がひどくなる/続く場合は医師に相談する。
皮膚に付着した場合	多量の水、石鹸ですぐに洗い流す。すぐに医療機関に連絡する。
目に入った場合	すぐに多量の水で洗い流し、15分以上続ける。コンタクトレンズを着用していて外せるようなら外す。すぐに医療機関に連絡する。
飲み込んだ場合	すぐに医療機関に連絡する。水で口をよくすすぐ。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	入手不可
医師に対する特別な注意事項	一般的な処置及び症状に合わせた適切な治療を施す。被害者を温かくし、眼を離さないこと。

その他の情報

本製品は乾燥剤であり、水を吸収すると熱を発生する。ばく露した場合/懸念される場合、医療アドバイスを受ける。医療スタッフが物質についての知識があること、スタッフの保護措置にも気を付けさせる。

5. 火災時の措置

消火剤	周辺火災に応じた消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	知見なし
火災時の特有の危険有害性	火災時健康に有害なガスが発生するおそれ
消火を行う者の保護	自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。
特有の消火方法	未開封の製品を冷やすには水スプレーを使用する。
特別な手法	他の燃焼物を考慮した通常の消火方法を用いる。
一般的な火災危険	異常な火災や爆発は起こらない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外を退避させる。換気をよくする。ダストを吸入しない。清掃中は適切な保護衣を着用すること。ばく露限界を超えるおそれがある場合には認証された呼吸器を着用する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	ダストの発生と蓄積を防ぐ。掃き集める、または掃除機で吸い取り廃棄に適した容器に集める。(製品が炭化水素と接触した場合には掃除機を使用しない)
環境に対する注意事項	排水、水路、地面への流出を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱い注意事項	取り扱いや容器の開封には注意する。ダストの発生、蓄積を最小限にする。ダストが発生する場所には適切な換気を設ける。産業衛生に気を配る。眼、皮膚、衣類への接触を防ぐ。ダストを吸入しない。長時間暴露しないようにする。容器と輸送機をアースし、静電気による火花が発生しないようにする。
安全な保管条件	乾燥した場所に保管する。密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度(暴露限界値)

US. OSHA TableZ-1 Limits for Air contaminants (29 CFR 1910.1000)

成分	タイプ	値	形状
酸化アルミニウム（非繊維） （CAS1344-28-1）	PEL	5 mg/m ³	吸入性粒子
酸化マグネシウム （CAS1309-48-4）		15 mg/m ³ 15 mg/m ³	トータルダスト トータル粒子
US. OSHA TableZ-3 (29 CFR 1910.1000)			
成分	タイプ	値	形状
石英（CAS14808-60-7）	TWA	0.3 mg/m ³ 0.1 mg/m ³ 2.4 mppcf	トータルダスト 吸入性 吸入性
二酸化ケイ素（合成） （CAS7631-86-9）	TWA	0.8 mg/m ³ 20 mppcf	
US. ACGIH Threshold Limit Values			
成分	タイプ	値	形状
酸化アルミニウム（非繊維） （CAS1344-28-1）	TWA	1 mg/m ³	吸入性粒子
酸化マグネシウム （CAS1309-48-4）	TWA	10 mg/m ³	吸引性粒子
石英（CAS14808-60-7）	TWA	0.025mg/m ³	吸入性粒子
US. NIOSH: Pocket Guide to Chemical Hazards			
成分	タイプ	値	形状
石英（CAS14808-60-7）	TWA	0.05 mg/m ³	吸入性ダスト
二酸化ケイ素（合成） （CAS7631-86-9）	TWA	6 mg/m ³	
生物学的限界値	生物学的暴露限界値は設定されていない。		
暴露ガイドライン	有害なダスト（トータル、吸入性）と結晶性シリカの職業的暴露はモニターし管理されるべきである。		
設備対策	特に密閉空間では換気をよくする。		
保護具			
眼/顔の保護	サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。		
皮膚の保護			
手	適切な耐薬品グローブを着用する。		
その他	適切な耐薬品保護衣を着用する。耐水性エプロンなどが推奨される。		
呼吸器の保護	ダストが許容濃度を超える恐れがある場合、認証済みの呼吸器を使用する。有機性蒸気カートリッジ、フル顔面保護、ダスト、ミストフィルターをつけた化学呼吸器。		
熱的危険	必要な場合熱保護衣を着用する。		

一般的な衛生事項 取扱後、飲食喫煙前の手洗いなど常に衛生に気を配る。仕事着、保護具類は定期的に洗濯、清掃する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	
	形状 固体(ペレット状)
	色 褐色
臭い	なし
融点・凝固点	入手不可
沸点又は初留点及び沸騰範囲	入手不可
可燃性	入手不可
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	入手不可
引火点	入手不可
自然発火点	入手不可
分解温度	入手不可
pH	8 - 11
動粘性率	入手不可
溶解度	入手不可
n オクタノール/水分配係数	入手不可
蒸気圧	入手不可
密度及び／又は相対密度	入手不可
相対ガス密度	入手不可
粒子特性	入手不可

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は通常の条件下の使用において安定で非反応性
化学的安定度	通常の状態安定
危険有害反応可能性	入手不可
避けるべき条件	ダストの拡散を防ぐ（圧縮空気でダストを吹き飛ばすなどしない）。混触危険物質との接触を防ぐ。
混触危険物質	酸、フッ素、塩素
有害な分解生成物	有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

起こりうる暴露についての情報

吸入	長期的に暴露すると有害な場合がある。ダストの吸入により呼吸器に刺激が起こる場合がある。
皮膚	重篤な薬傷を起こす。
眼	重篤な眼の損傷を引き起こす。ダストが眼に入ると刺激を起こす。
飲み込んだ場合	消化管の薬傷を起こす。
物理的、化学的、有害性特性に	入手不可

関連した症状

毒物学的影響

急性毒性

入手不可

成分

種

結果

酸化ケイ素（合（CAS7631-86-9）

急性

経口

LD50

マウス

>15000 mg/kg

ラット

>22500 mg/kg

*製品への評価にはデータとして記載されていない成分が含まれている場合があります。

皮膚の腐食性/刺激性

重篤な皮膚の薬傷、目の損傷を起こす

重篤な眼の損傷性/眼刺激性

重篤な眼の損傷を引き起こす。ダストが眼に入ると刺激を起こす。

呼吸器または皮膚感作性

呼吸器感作性

入手不可

皮膚感作性

入手不可

生殖細胞変異原性

入手不可

発がん性

1997年IARC（International Agency for Research on Cancer）は職業的発生源から吸入された結晶性シリカが肺がんを起こすおそれがあると結論づけた。ところが総評に際しIARCは調査したすべての産業環境において発がん性物質は見られなかった、とした。発がん性は結晶性シリカの本来の性質または生物学的動向、多形体の分布に影響する外的要因に依存する（IARC Monographs on the evaluation of the carcinogenic risks of chemicals to humans, Silica, silicates dust and organic fibres, 1997, Vol. 68, IARC, Lyon, France）

2003年6月SCOEL(the EU Scientific Committee on Occupational Exposure Limits)は 吸引性の結晶性シリカダストを吸入したことによるヒトへの影響は主に珪肺であるとした。珪肺を患う人は肺がんを起こすリスクが高まるという十分な情報があるとし、すなわち珪肺の発病を防ぐことは肺がんのリスクを低減させることになる...とした（SCOEL SUM Doc 94-final, June 2003）。最新の研究によると珪肺に対する労働者の保護は職業的暴露限界値を順守することで確実にされるとされる。吸入性ダストと吸入性結晶シリカの職業性ばく露はモニターし、管理されるべきである。

IARC Monographs. Overall Evaluation of Carcinogenicity	石英 (CAS14808-60-7) 1 ヒトに対する発がん性 酸化ケイ素 (合成) (CAS7631-86-9) 3 ヒトへの発がん性
OSHA 特定規制物質 (29CFR 1910.1001-1050)	記載なし
US. National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens	石英 (CAS14808-60-7) ヒトに対する発がん性があると知られている
生殖毒性	入手不可
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	入手不可
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	入手不可
誤えん有害性	入手不可
慢性影響	長期的に吸入すると有害

12. 環境影響情報

生態毒性	本製品は環境に対して有害と分類されていないが、大量のまたは繰り返しの漏えいが環境に悪影響を与えないとするものではない。
残留性/分解性	知られていない。
生態蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	入手不可
その他の有害影響	入手不可

13. 廃棄上の注意

廃棄手順	内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。
残余廃棄物/未使用製品	地域の規制に従う。空容器には製品が残っている場合がある。当該製品とその容器は安全に廃棄されなければならない。
汚染容器	空容器の再利用/廃棄には認証を受けた廃棄処理場に持ち込まなければならない。

14. 輸送上の注意

DOT,IATA,IMDG において本製品は危険品に分類されていない。

15. 適用法令

施行令第 18 条の 2 別表第 9 (名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物)

労働安全衛生法

165-2 (石英)、189 (酸化アルミニウム)

規則第 577 条の 2 がん原性があるとして定められたもの

165-2 (酸化ケイ素・石英)

16. その他の情報

参考文献 本製品の英文 SDS(072214) : LECO Corporation
JIS Z7252 (2019) GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、
作業場内の表示および安全データシート
化学便覧 : 丸善
職場のあんぜんサイト : 厚生労働省
NITE 化学物質総合情報提供システム : 独) 製品評価技術基盤機構

作成：平成 28 年 7 月 4 日

改訂：令和 4 年 3 月 7 日 (法令見直し、2019 年版 JIS 対応)

令和 5 年 12 月 26 日 (法令見直し)

* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。

尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。